

3 公益財団法人名古屋食肉公社

令和7年7月1日現在

設立年月日	平成6年5月20日	代表者氏名	理事長 久松 克典		
所在地	名古屋市港区船見町1番地の39			電話番号	052-619-4171
ホームページアドレス	http://www.kosha.sakura.ne.jp/index.html				
資本金・基本金	105,200千円	市出資・出捐金	89,571千円 (85.1%)		
所管部局	経済局中央卸売市場南部市場管理課			電話番号	052-614-4129
設立目的	名古屋市中央卸売市場南部市場において、と畜解体処理に関する事業等を行い、安全で衛生的な食肉の安定供給を図るとともに、食肉の安全衛生に係る普及啓発活動を通じて、広く公衆衛生の向上を図ることを目的とする。				
主な事業	事業名	令和6年度 事業費	事業の概要		
	と畜解体・冷蔵保管	751,490千円	と畜解体処理業務及び冷蔵保管業務		
	副産物処理	550,131千円	処理加工した内臓、皮、頭、脂肪等を、関連業者として、卸売業務を実施		
	搬入枝肉搬送事業	27,436千円	南部市場に搬入された枝肉の冷蔵保管及び各事業者の加工場への搬送		
役職員数	常勤				非常勤
	役員数	2人	(うち市派遣)	0人	(うち市OB)
	職員数	79人	(うち市派遣)	0人	(うち市OB)
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)	6,911千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)	5,698千円	正規職員 平均年齢 (市派遣職員除く)	42.1歳
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
市からの財政支出	委託料	141,360千円	147,205千円	152,446千円	
	内 隨意契約金額	(141,360千円)	(147,205千円)	(152,446千円)	
	補助金	196,632千円	197,320千円	209,551千円	
	指定管理料	0千円	0千円	0千円	
損益計算書 (正味財産増減計算書)	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円	0億円	
	経常収益	1,301,197千円	1,326,599千円	1,375,185千円	
	経常費用	1,260,579千円	1,293,066千円	1,331,692千円	
	経常利益(損失)	40,618千円	33,533千円	43,493千円	
貸借対照表	当期利益(損失)	32,376千円	25,645千円	31,825千円	
	総資産	454,621千円	483,739千円	515,754千円	
	内 流動資産	(230,669千円)	(240,400千円)	(215,442千円)	
	内 固定資産等	(223,952千円)	(243,338千円)	(300,312千円)	
	総負債	140,185千円	143,657千円	143,848千円	
	内 流動負債	(131,120千円)	(133,538千円)	(131,830千円)	
	内 固定負債等	(9,065千円)	(10,119千円)	(12,018千円)	
	純資産(正味財産)	314,437千円	340,081千円	371,906千円	

経営に関する指標（共通指標）

3 公益財団法人名古屋食肉公社

○法人の自立性	令和5年度	令和6年度	対前年度増減
市からの収入割合 $\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	26.0%	26.3%	0.3%
市との随意契約比率 $\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
市職員の役員就任割合 $\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	令和6年7月1日現在 18.2%	令和7年7月1日現在 18.2%	対前年増減 0.0%
	100.0%	100.0%	0.0%
○組織運営の効率性	令和5年度	令和6年度	対前年度増減
管理費比率 $\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
○財務の健全性	令和5年度	令和6年度	対前年度増減
自己資本比率 $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	70.3%	72.1%	+1.8%
流動比率 $\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	180.0%	163.4%	▲16.6%
固定長期適合率 $\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}} \right)$	69.5%	78.2%	+8.7%
借入金依存度 $\left(\frac{\text{借入金} + \text{社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金) $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金・資本金}}{\text{}} \right)$	234,881千円	266,706千円	+31,825千円

○ 経営戦略計画（R2～R6）の概要

経営戦略方針

業務の効率化による経費の削減、食品衛生管理上必要な業務の実施及び市場・顧客ニーズの的確な対応により収益を向上させ、牛及び豚の処理頭数に左右されない財務体質の確保に努める。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	6目標値	6実績値
と畜解体の技術、品質を維持、向上させることで、生産者や購買者の信頼を高め、南部市場の集荷促進並びに取引の活性化を図る。	処理工程内で付着した糞便、胃腸内容物のトリミング工程での見逃し(件)	0件	0件
	内臓・副産物の金属異物混入(件)	0件	0件
と畜解体及び冷蔵庫保管事業による事業収入、補助金と合わせ、安定的なキャッシュフローの確保に努める。	一般正味財産期末残高(剰余金)の累計額(千円)	1億円	266,706千円
生産性を維持しながら、経常経費の抑制に努める。具体的には、毎年の定期昇給分の経費増要素を経費節減で吸収できるように努めることで、剰余金の目標額達成に寄与する。	経常費用支出の総額(千円)	1,064百万円未満	1,011,366千円
と畜解体作業を衛生的に行うため、と畜場法で定める作業衛生責任者の資格を有する職員を増員する。	作業衛生責任者有資格者数(名)	4名(5年間で20名)	職員4名が受講し、5年で20名が資格取得した。